

Ibaraki Association of Architects & Building Engineers

けんちく茨城

No. 84 February, 2014

[報告]

平成26年新春賀詞交歓会

[建築作品紹介]

大洗町立大洗小学校



一般社団法人
茨城県建築士会

目次

	年頭のごあいさつ 一般社団法人 茨城県建築士会会長 柴 和伸	1
[報告]	平成26年新春賀詞交歓会	2
[建築作品紹介]	大洗町立大洗小学校	6
[シリーズ]	先輩会員を訪ねて 吉池 性一氏、増田 和夫氏 インタビュー	9
	五輪建築「建築の祭典」としての東京五輪。ザハ・ハデイドの基本構想の着地点は？	10
[トピックス]	グッドデザイン賞 カナザワ建築設計・金澤氏が「古民家再生作品」で受賞！	11
	グッドデザイン賞 のぶひろアーキテクト・加藤氏が「老舗旅館→カフェ」のリノベで受賞！	11
	第56回建築士会全国大会 孫にも会って、表彰状もいただき、島根を心ゆくまで堪能！	12
[報告]	西山荘復旧工事 震災復旧工事の作業現場を視察。	13
	牛久シャトー修復工事 貴重なレンガ造りの修復現場を体験。	14
[まちづくり委員会報告]	伝統建築の魅力をまちづくりに活かすこと。	15
[会員委員会報告]	見て、触れて、満喫した会津の精神。	16
[総務委員会報告]	今年も「建設フェスタ2013」に参加。	17
[県南ブロック協議会報告]	「木材利用ポイント」制度を正しく理解する。	18
[高萩支部報告]	日帰り研修見学会で支部の存在をアピール！	19
[石岡支部報告]	子どもたちが描く「未来に住みたい建物」。	20
[県央支部報告]	晩秋の笠間に伊藤豊雄作品を訪ねて。	21
[結城支部報告]	建具屋のちょっとうれしいぼやき。	22
	わくわくセミナー「固定資産税」	23
[女性委員会報告]	ラブアークセミナー「陶芸体験」	23
[短期連載 第2回]	「ヘリテージマネージャー育成研修2013」体験記。	24

会報 **けんちく茨城**

題字 橋本 昌 茨城県知事

2014年2月 第84号

表紙写真 大洗町立大洗小学校

設計・監理 (株)日立建設設計

所在地 茨城県東茨城郡大洗町
磯浜町5316-1

建築面積 4,423.87㎡

延床面積 7,113.09㎡

構造・規模 RC造

地上2階建て 塔屋1階

発行 平成26年2月5日(年3回発行)

次回発行 平成26年6月5日予定

発行部数 2,700部

発行所 一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸
〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F
TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330

Eメール kyy05413@nifty.com

編集 情報・広報委員会

デザイン 有限会社平井情報デザイン室

印刷所 株式会社あけぼの印刷社

昨年に引き続き、木造関連の活動をより充実させる年に。

一般社団法人 茨城県建築士会

会長 柴 和伸



2014年の抱負を柴会長に語っていただきました。

望まれる安定した国際状況、経済状況

一昨年に民主党から自民党に政権が代わり、昨年は、安倍首相主導の下でスタートしたアベノミクスによる経済効果や、2020年の東京五輪開催決定など、デフレで低迷していた日本経済に久しぶりに明るい兆しが差し込んだ一年となりました。国内の経済においては、アベノミクスによる円安効果、リフレ効果、株価の上昇、消費税対策の駆け込み需要など、景気も持ち直しつつあり、2014年はデフレ脱却に向けてさらなる加速がみられると予想されます。

もちろん、懸念材料がまったくないわけではありません。この4月からの消費税増税による消費、景気の落ち込み、解決の糸口が見えず緊張が続く中国、韓国との関係などの影響が心配される部分もありますが、国内的には本格的な復興需要、東京五輪へ向けたインフラ整備、公共事業の拡大、民間企業の設備投資など、我々建築業界に身を置く者にとっては久しぶりに耳にする明るい話題もあります。

今後のさらなる景気の回復を願い、個々の事務所の仕事をいかに生み出すかを、会員皆で協力して問題点を解決する努力をしていかなければならないと思っています。会員相互に皆で知恵を出し合い、より明るい年にしていけるよう望みます。

事業の継続

会の活動としては、基本的にはこれまで進められてきた事業を継続していくことを主眼に置いています。

特に一昨年より実施されてきた木造建築構造技術者育成講座の継続、「茨城県木造建築物協議会」

を通じての講習会、見学会の実施、さらに、昨年9月に「いばらき木造塾」を企画し、具体的な講座開催に向けて準備を進めています。今年度は他にも木造に関する講座を開設予定で、木造の技術、知識を深める活動を充実させていきたいと考えています。

もちろん、士会本来の広域的な活動、会員の皆さんに対する情報提供、研修など、業務に役に立つ活動を推進し、事業の内容を整理し充実させ、いっそう高めてゆくことをこれからも続けていきたいと考えます。そういった会の事業遂行の根幹の部分には各委員会の活動と連動することが多いため、事業内容の検討、会のためによりよい効果をもたらす事業の実施を、各委員会の委員長を中心に、引き続きお願いしたいと思っています。

会員の増強等について

ここ数年会員が減少し、このままでは将来的に会の運営が危惧される状態にあります。若い方の入会が少なく、会員歴の長い会員は高齢に達し退会するケースも増えているため、会員の減少が続いているわけですが、魅力ある会にするためにはどうすればよいかを皆さんと一緒に考え、会員の減少をなんとかくい止め、増強を図っていきたく強く願っています。その一策として、2級建築士免許交付式において、今年度から、資格取得者と年齢の近い青年委員のメンバーを中心にPRを行いました。また、青年委員の年齢引き上げも今後検討していきたく思います。会員数3,000名を再び目指し、魅力ある会を皆さんとともに作っていきたく考えています。2014年も皆さまのお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

(聞き手=情報・広報委員会 浅野 祐一郎、石黒 幸喜)

平成26年 新春賀詞 交歓会

平成26年1月17日(金) 16:00～
水戸プラザホテル 2階「ボウルルーム」

[式次第]
開会のことば／会長あいさつ／来賓あいさつ／
来賓紹介／乾杯／賀詞交歓／大抽選会／中締め



橋本 昌
茨城県知事

高橋 靖
水戸市長／
本会顧問

白田 信夫
県議会議員／
本会顧問

伊沢 勝徳
県議会議員／
本会顧問



石川 多聞
県議会議員／
(公社)茨城県
林業協会理事長

新谷 正義
衆議院議員

柴 和伸
本会会長



今年もよろしく
お願いします

よい年になるよう
願っていますね



桜川支部は
今年も元気です！

北相馬から
かけつけました！

年の初めの恒例行事となった新春賀詞交歓会が、平成26年1月17日(金)、水戸プラザホテルで開催されました。今年は、来賓、正会員、賛助会員を合わせて300名が参加しました。

会は、松山副会長による開会あいさつで始まり、まず柴会長があいさつ。昨年は、デフレ脱却のための経済政策としてアベノミクス効果も現れ、円安、株高、景況感もプラス方向に変わり、景気回復の兆しのある一年となったこと、安倍政権の正念場となる今年は、4月に消費税増税実施など懸念材料もややあるものの、さらなる景気回復に期待し、元気のある日本になるようお願いしたいと、年頭の抱負を述べました。

来賓あいさつでは橋本県知事、高橋水戸市長、白田県議会議員、伊沢県議会議員より、また、関係団体代表として石川県議会議員より祝辞をいただきました。

新谷衆議院議員の乾杯の発声により、会場のあちこちで和やかで楽しい交流の図が繰り広げられました。会の後半には、賛助会員等から提供いただいた景品が当たる大抽選会が開催され、最後には液晶テレビが登場するなどして、大いに盛り上がりました。祝宴は盛況のうちに進み、武村副会長の中締めにより終了しました。

2020年には東京オリンピックの開催も決定し、今後は、首都圏を中心にした本格的なインフラ整備が予定され、また災害地における復興需要などもあり、建築業界にとっては、先の見えなかった閉塞感から明るい兆しを感じられる年の幕開けとなりました。午年の今年に飛躍的な景気回復を願い、会員の皆さんに幸多き年であることをお祈り申し上げます。

(報告=情報・広報委員会)



皆の力を合わせ、
大きな飛躍を遂げる
1年にしましょう!
乾杯!



女性の力は
大事ですね

うれしい!

感謝です

びっくり!
大当たりですー



やりました!



ご来賓

茨城県知事	橋本 昌	茨城県行政書士会会長	國井 豊
衆議院議員	新谷 正義	茨城県鉄筋業協同組合理事長	大平 時彦
参議院議員	上月 良祐	茨城県板金工業組合理事長	花田 昇
水戸市長 建築士会顧問	高橋 靖	茨城県塗装工業組合理事長	鈴木 博巳
茨城県議会議員 建築士会顧問	白田 信夫	(一・社)茨城県空調衛生工事業協会会長	小川 三郎
茨城県議会議員 建築士会顧問	伊沢 勝徳	(一・社)茨城県消防設備協会会長	瀬谷 利雄
茨城県議会議員 (公社)茨城県林業協会理事長	石川 多聞	(一・社)茨城県貯水槽維持管理協会会長	稲葉 貞幸
衆議院議員 田所嘉徳 秘書	伊藤 豊	(一・社)茨城県建設業協会専務理事	田山 寛治
茨城県土木部長	立蔵 義明	(公社)茨城県宅地建物取引業協会専務理事	橋詰 芳明
茨城県土木部技監兼都市局建築指導課長	大津 博之	茨城県鐵構工業協同組合副理事長	萩原 文雄
茨城県土木部技監兼都市局住宅課長	江原 秀明	(一・社)茨城県電設業協会理事	園部 昌之
茨城県土木部営繕課長	山田 茂	(公社)茨城県水質保全協会副理事長	成田 浩明
水戸市都市計画部建築指導課 課長補佐	青木 昌弘	茨城県木材協同組合連合会専務理事	根本 学
日立市都市建設部建築指導課長	沼田 敬元	茨城県管工事業協同組合連合会専務理事	石田 賢司
土浦市都市整備部建築指導課長	木村 義嗣	茨城新聞社取締役営業局長	桜井 由紀夫
(一・財)茨城県建築センター理事長	内藤 初男	日本工業経済新聞社水戸支局長	吉濱 俊樹
(一・社)茨城県建築士事務所協会会長	横須賀 満夫	日本建設新聞社水戸総局長	井上 哲郎
日本建築学会関東支部茨城支所長	増澤 敬	(一・社)茨城県建築士会相談役	滑川 浩一
(一・社)茨城県設備設計事務所協会会長	菊地 繁	(一・社)茨城県建築士会相談役	田中 實

(敬称略、順不同)

正会員

久慈支部	市川 三和子	ひたちなか支部	立花 秀之	県央支部	内山 一志	県央支部	酒寄 光一
〃	植田 笑子	〃	浜中 本子	〃	遠藤 洋三	〃	櫻井 充
〃	梶 ひろみ	〃	山田 博則	〃	大内 常男	〃	佐藤 哲夫
〃	豊田 あい子	〃	〃	〃	大鐘 孝弘	〃	篠根 玲子
〃	長山 智子	鹿島支部	石橋 幸一	〃	大槻 薫	〃	柴 和伸
〃	藤井 耕市	〃	笹本 健次	〃	大部 淳一	〃	関根 慎一
〃	〃	〃	高橋 文男	〃	大峰 裕一	〃	関根 貴雄
高萩支部	棚谷 哲夫	〃	中藪 薫	〃	大山 早嗣	〃	瀬谷 和人
〃	豆澤 時雄	〃	〃	〃	岡山 伸行	〃	高槻 一雄
〃	三代 善信	県央支部	阿久津 祐子	〃	小川 憲一	〃	田中 健一
〃	〃	〃	浅野 祐一郎	〃	小川 雅良	〃	田中 正巳
日立支部	池田 剛	〃	安達 芳男	〃	小沼 隆志	〃	富田 正美
〃	菊池 積	〃	荒川 芳和	〃	加藤 宜之	〃	富山 則行
〃	清水 忠	〃	安東 純貴	〃	金澤 重雄	〃	中崎 妙子
〃	富田 義光	〃	飯島 隆	〃	轡田 久恵	〃	中山 眞矢
〃	生田目 昇	〃	池崎 栄二	〃	工藤 恵	〃	沼田 弘次
〃	松山 恒男	〃	井坂 光宏	〃	久野 正行	〃	根本 勝義
〃	三澤 俊介	〃	石井 浩光	〃	倉田 章吾	〃	根本 洋一朗
〃	〃	〃	石川 啓司	〃	小坪 真司	〃	塙 貴宏
ひたちなか支部	坪 浩一	〃	石田 一裕	〃	小口 秀久	〃	塙 秀之
〃	大内 賢一	〃	磯山 治	〃	小室 晶	〃	塙 万治
〃	川又 晴彦	〃	市毛 純一	〃	小室 克己	〃	早川 敏史
〃	清水 洋一	〃	一毛 裕之	〃	斉藤 栄治	〃	平沼 清美

大洗町立大洗小学校

児童・保護者・教師・地域の人々が
ともに楽しむ「学びのまち」



プラザアプローチ

背景

今回の整備計画では、少子高齢化による児童数の減少や築後40年を超える校舎の老朽化対策を踏まえ、小学校の適正規模を維持しながら隣接する磯浜小学校と祝町小学校を統合し、より好ましい敷地条件により磯浜小学校跡地に建て替えることとなり、設計者選定のための設計プロポーザルが実施されました。

我々は太平洋を望む丘という恵まれた立地条件を最大限生かすとともに、2階建ての中庭形式とすることで、限られた面積のなかで多様なシーンを内包する“まち”のような学校がつかれないかと考えました。そこで児童・保護者・教師・地域

の方々がともに楽しむ「学びのまち」をコンセプトに提案を行いました。

学校に対する想いや夢を共有し、一緒に創り上げる過程を重要視

町の教育方針や地域特性から地域交流の場としての小学校の在り方が大切であると考え、設計手法としては児童・保護者・教師・地域の方々と想いや夢を共有し一緒に創り上げる過程を重要視しました。そこでアンケートやワークショップ等、参加型の計画プロセスを積極的に取り入れ、教室・オープンスペースの設えや各特別教室の構成、イメージを十分検討し、基本設計・実施設計の各段階で設計に反映しています。

大洗町教育方針に対する提案

大洗町内の中学校は全て教科教室型の運営方式として全国的に知られています。プロポーザルではこの教育システムに対し小学校の在り方としてどのような提案ができるかが問われていました。そこで我々は自発的な学習意欲を育むべく、低・中・高学年の3つのステップで段階的に自ら学ぶ姿勢が身に付く学習環境を整備する提案を行いました。

具体的には、低学年は総合学習型ユニットとして移動間仕切りによって囲まれた教室に十分な余裕を持たせ、安心感のある適度な「囲われ感」を重視しました。

中・高学年ではオープンスペース

大洗町立大洗小学校

設計・監理 株式会社建設設計

所在地 茨城県東茨城郡
大洗町磯浜町5316-1

建築面積 4,423.87㎡

延床面積 7,113.09㎡

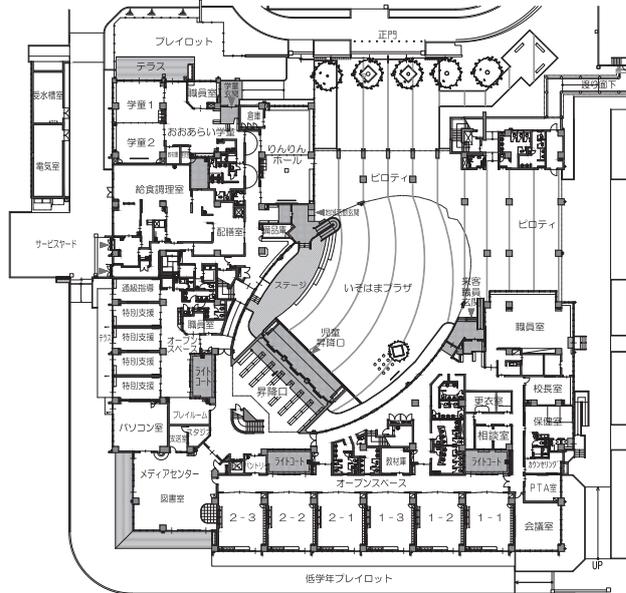
構造・規模 RC造 地上2階 塔屋1階



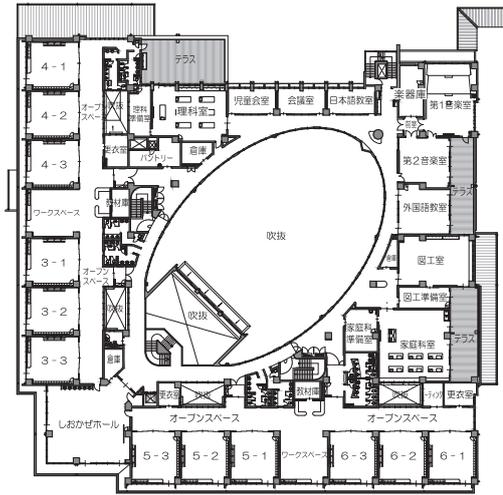
いそはまプラザ



いそはまループ



1階



2階

に十分な面積を持たせ、移動間仕切りにより教室とオープンスペースの境をオープン/クローズに柔軟に対応できる設えとし、音や視線による児童の集中力低下の懸念も念頭に置きながら柔軟な教室運営を可能とし、進学した際の中学校の教科教室も意識し、学年ユニット全体を一体的な学習空間として活用できる設えとしています。

地域との連携

町では学校と地域の連携を重視しており、プロポーザルでもこれを実現するための施設の在り方が求められていました。そこでアンケートやワークショップ開催に加え、「いそはまプラザ」を中心に海に向かっ

て地域交流・地域活動が展開していくイメージを想定し、平面計画の基本的な考え方として展開しました。学校の中心に設けた「いそはまプラザ」、それを囲う2階の「いそはまループ」、さらにランチルームやメディアセンター、屋外の港のみえる丘公園の位置関係に着目し、1つの軸線上にまとめています。地域を含めたすべての人々が、この軸を抛り所にして活動し、意識を共有することで、コミュニティが自然と醸成していく空間構成を意識しています。

工事段階では児童の参加型ワークショップを行い、プラザの舗装デザイン案を磯浜小・祝町小の児童から募集し、地元ならではの海の生き物をモチーフにした図案が

多く寄せられました。それらを基に天然砂利舗装の色分けにより楽しく動きのある舗装デザインができました(表紙写真参照)。

いそはまループ

オープンスペースを含む学年ユニットとは別に、回廊を併設、このループ沿いに各学年毎の専用出入口・トイレ、採光・通風のためのライトコートを設け、他学年や共用部との兼用を避ける構成としています。これによって、学年毎のまとまり感や落ち着いた学習環境を確保しながら、「学びのまち」として奥行き感のある佇まいを感じることができます。

竣工後、約1年半を経た現在、



昇降口

カスタマイズしながら楽しんで学校を使いこなしている姿を肌で感じることができます。特に大洗港を望む「しおかぜホール(ランチルーム)」、「いそはまプラザ(中庭)」、「りんりん

ホール(地域開放エリア)」等が人気スポットで、地域と学校が一体となって子供達を育む場が着実に根付いている印象を受けます。

また、クラスルームエリアでは、

オープンスペース利用や移動間仕切りの開閉調整、机の対面配置等、多様な学習形態の実践が行われ、教育現場での時代の変化を改めて感じます。

美しい未来へ・・・ IIAE

株式会社 日立建設設計

Hitachi Architects & Engineers Co.,LTD.

取締役社長 増崎 秀文
執行役員茨城支社長 山本 啓二

茨城支社 〒312-0045 茨城県ひたちなか市勝田中央10-7
本社 〒101-0047 東京都千代田区内神田3-11-7

Tel (029) 272-9071
Tel (03) 6757-7100 URL <http://www.hae.co.jp>

エレベーター・ホームエレベーター
ダムウェーター・階段昇降機・段差解消機

株式会社クマリフトコーポレーション
茨城営業所

〒305-0821
茨城県つくば市春日4丁目5-7 クラモチ春日マンション1F
TEL (029)852-0780 FAX (029)852-0881
URL:<http://www.kumalift.co.jp/>

◎児玉コンクリート工業株式会社

取扱製品：PHC・HB・ST・SC・HiSC・CPRC
TPJOINT・PJ・FTPileキャップ
工 法：HBM工法・HiFB工法・FI工法
ST-FI工法・New-STJ工法
その他各種工法

営業本部 茨城営業所
〒300-0033 茨城県土浦市川口1-7-19
TEL：029-827-0871 FAX：029-827-0890

士会会員として長きにわたり活躍されてきた先輩方を訪問し、お話を伺うコーナー。第22回となる今回は、
 県庁支部の吉池 性一氏と、
 坂東支部の増田 和夫氏を訪問し話を伺いました。
 聞き手＝情報・広報委員会 浅野 祐一郎、軽部 守彦



「県営都和団地の計画に携わったことが印象に残ります」

吉池 性一 氏 (県庁支部)

昭和17年生まれ/昭和47年入会/会員歴42年

戦後の混乱期、山形県米沢市にあった父の祖父方で中学、高校時代を過ごす。その後上京し、東京の大学で建築を学ぶ。都内の建築設計事務所に勤務した後、茨城に戻り、昭和44年に茨城県庁に入庁。建築指導課で建築確認や開発行為などの申請・許認可業務、違反建築取締りなどに従事する。建築指導課長を務めた後に退職。県の建築行政ひとすじに尽力を続けた先輩会員。

——行政での仕事で印象に残るものは？

「住宅課時代に県営若宮団地、県営都和団地など

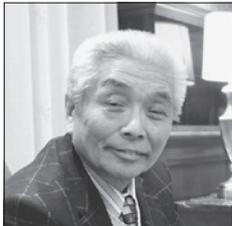
の建設計画に関わったことですね。特に都和団地の建設においては、更地から団地造成のための測量、道路の建設、下水、水道の引込など、団地計画全体に渡る事務を担当しました。大変でしたが、今はよい思い出となっています」

——健康を保つ秘訣はなんですか。

「趣味でウォーキングを続けています。また、ゴルフも好きで、建築士会主催のチャリティゴルフコンペには毎年参加して楽しんでいます」

——後輩会員にアドバイスをお願いします。

「健康であること。簡単なようで難しいことです」



「自分を信じ、信念を貫くことが何においても肝心です」

増田 和夫 氏 (坂東支部)

昭和20年生まれ/昭和49年入会/会員歴40年

生まれは、東京都港区麻布。芝浦工大で建築を学び、卒業後は大手ゼネコンに就職。その後25歳の時に、縁があって茨城で家庭を持つ。昭和48年に1級建築士の資格を取得し、設計事務所を開設する。建築士会においては4年前から坂東支部長を務め、支部の活性化に貢献している。温厚な人柄で支部活動をまとめる先輩会員。

——現在の建築士の業務をどう思われますか。

「PCが普及し、CAD化され、手書きで書くことがほとんどなくなっていることが懸念されます。建築現場においても機械加工が主となり、設計者に

しても、建築技術者にしても、技術の継承をきちんと行うことができるのか、心配されるところです」

——健康を保つ秘訣はなんですか。

「夢中になれる趣味を持つことです。私は、果樹栽培をやっており、果樹栽培ではびわ、ソルダム、桃、金柑などちょっと珍しい23種類の果物を栽培しています。休日や仕事の合間に手入れし、収穫することが楽しみです。また、ノルディックウォーキングを10年ほど前から健康維持のために始めて、毎日7.5kmを1時間半ほどかけて歩いています」

——好きな言葉を教えてください。

「信念。何ごとも自分を信じ貫くことが肝心です」



「建築の祭典」としての東京五輪。 ザハ・ハデイドの基本構想の着地点は？

2020年の「東京五輪」が決定し、今後は会場周辺の整備が進み、競技会場となる施設の建築も楽しみの一つとなる。今から50年前、1964年の「東京五輪」で建設された代々木競技場は、ご存じのとおり丹下健三の代表作で、吊り構造の屋根は構造・機能が一体となっており、優れた技術力を世界に見せつけた、日本を代表する作品であった。

記憶にまだ新しい2008年の「北京五輪」において建設された9万人収容のメインスタジアム「国家体育館」(通称鳥の巣)は、多方向に交錯する鉄の構造体で覆われた姿が非常に印象的な、スイスのヘルツォーク&ド・ムーロンの設計によるものだった。

そして、2020年に開催される「東京五輪」のメイン会場となる新国立競技場である。神宮外苑にある国立霞ヶ丘陸上競技場を解体し、8万人を収容する開閉式屋根付きスタジアムに建て替え、五輪前の2019年に開催されるラグビーワールドカップ大会でお披露目となる予定だそうだ。

建設費は当初1,300億円が見込まれていたが、その後の試算により最大で3,000億円まで膨らむことが明らかになって問題視され、槇文彦氏らが異義を申し立てて見直しが行われた。これにより、床面積を25%削減し、建設費を約1,800億円に削減

する設計内容が昨年末に公表されたところだ。

国際デザインコンクールによって選ばれた、この新国立競技場の設計者は、ザハ・ハデイド氏。イラク・バクダッド生まれで、英国を拠点に活動する女性建築家だ。ザハは長らく「アンビルドアーキテクト」として知られてきた。コンペにおいて選出されながらも建設の段階で頓挫することが多く、“建てない建築家”あるいは“建たない建築家”の意味で「アンビルドの女王」とも呼ばれた。

ザハらしい建築が実際に建ち上がるようになったのは今世紀に入ってからで、流線型のデザインの新国立競技場はザハの代表作となることは間違いないであろう。ただ、完成予想図が独り歩きしているが、設計内容が完全に決まったわけではない。ザハの案はあくまで「基本構想」。これをベースに具体的な設計業務を行うための公募型プロポーザルが行われ、日建設計他3社のJVが選ばれた。ザハ・ハデイド・アーキテクトはデザイン監修者として大枠を決め、細部については日建設計らJVが考えてザハに提案するという設計の流れとなるようだ。

今後はイメージのような流麗な構造が本当に実現できるのか、建築材料の高騰など懸念材料もあるが、完成が楽しみである。(構成：情報・広報委員会)

カナザワ建築設計・金澤氏が「古民家再生作品」で受賞！

震災に遭って瓦が落ち、ブルーシートを掛けた状態での再生計画でした。雨漏りのため傷んでいく壁や床のことを考え焦る気持ちと、施主の要望をまとめなければという気持ちが交差する中での設計作業でした。

古民家を改修するか建て替えるかの判断は難しく、施主も迷っている場合が多いため、プロの設計者による的確なアドバイスが必要になります。それにはなんといっても経験が大切になります。時間が限られている中での判断でしたが、今回グッドデザイン賞をいただいたことで、その判断が間違いではなかったと、ほっとしています。

評価をいただいた点は「震災に遭いネガティブになりがちなか気持ちの中で、古民家が背負う歴史や、受け継いできた先祖の思いに敬意を払い再生させ



カナザワ建築設計事務所の受賞作「茨城町の古民家」

た」とのことでした。施主ご家族をはじめ、工事関係者の方々には大変お世話になり、この場をお借りしてお礼を申し上げます。(金澤 重雄)

のぶひろアーキテクト・加藤氏が「老舗旅館→カフェ」のリノベで受賞！

今春に竣工したカフェについて、この度2つの賞をいただきました。ひとつは公益財団法人日本デザイン振興会の主催するグッドデザイン賞、もうひとつは茨城県の主催する茨城デザインセレクションです。後者については「選定された作品の中でも特選に値する(セレクション冊子蓮見委員長挨拶文より)」知事選定をいただきました。

この2つのデザイン賞に共通するのは、ともに“もの(建築)の出来だけを評価する”のではなく“もの

(建築)によってひろがること(事象)”についても審査対象になっているということです。

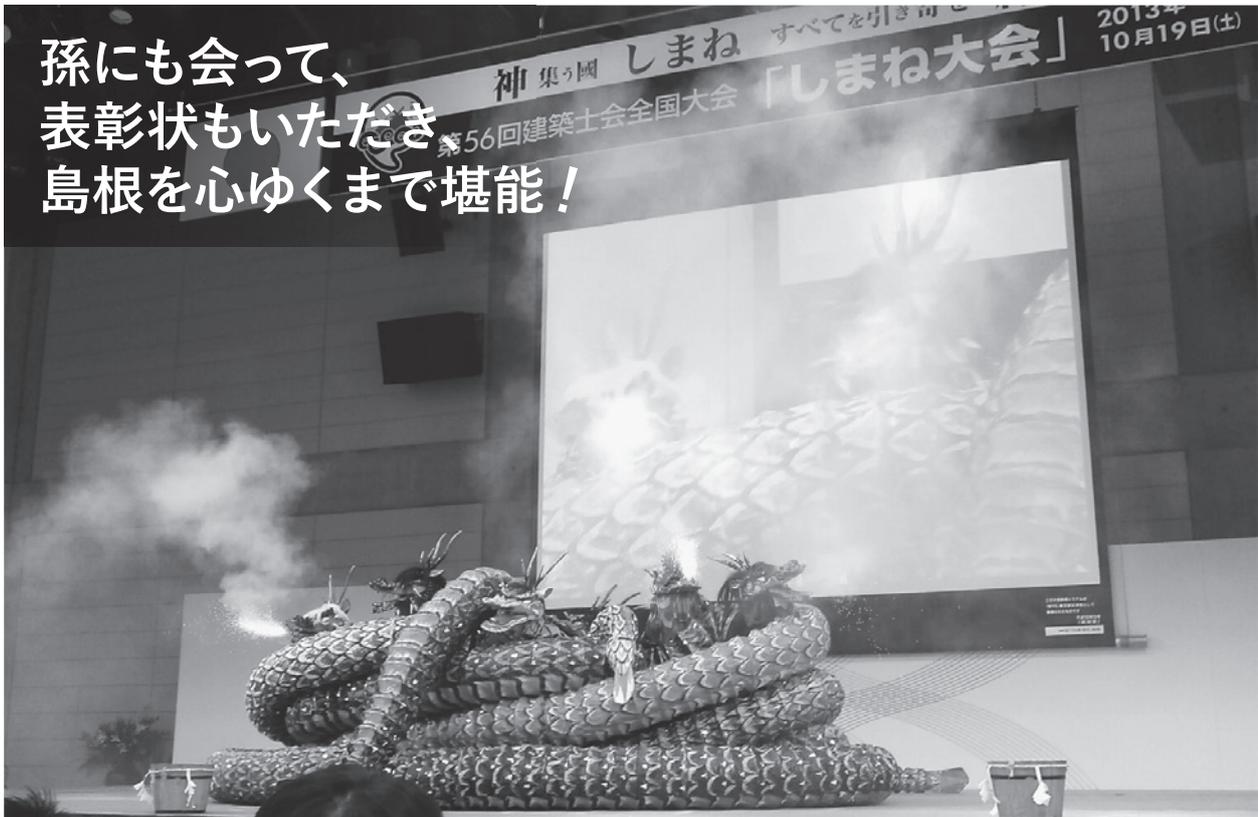
受賞作「橋本珈琲」は、伝統的建造物が多く残る桜川市真壁地区の老舗旅館「橋本旅館」の一部をカフェにリノベイトした建築です。

くわしい経緯は省略しますが、被災した国有形登録文化財建造物の所有者の想いや地元の熱い期待や補強を含めた技術的に難易度の高い工事など、ひとつひとつに物語があります。

計画に際して、それまでになかった真壁地区のコミュニティカフェとしてのあり方について時間をかけて検討しました。たとえば、テイクアウトコーナーを設けたのもその一例で、まちの案内所としても機能し、さらには地域住民と観光客の架け橋になるような「新しいまちのつかいかた」になるような期待を込めてあります。興味がわいた方には、ぜひウェグナーのソファでまどろみながら「もの」「こと」を体感いただければ幸いです。最後に真壁町のみなさんや施工を担当していただいた郡司政美様には大変お世話になったことを記しておきます。(加藤 誠洋)



一級建築士事務所ののぶひろアーキテクトの受賞作品「橋本珈琲」



伝統芸能「石見神楽」

昨年10月19日、「神集う國 しまね すべてを引き寄せ 縁結ぶ」の大会テーマのもと開催された建築士会全国大会「しまね大会」に参加してきました。じつは、僭越ながら、私、本大会におきまして連合会長表彰をいただけることになり、何とか出席せねばと、万障繰り合わせて行ってまいりました。

大会式典のオープニングアトラクションでは、「石見神楽」という伝統芸能を見ることができました。この神楽では、巨大な大蛇が出てきたり、火花や煙が飛び出したりと、かなり強烈な演出で、目を見張るものがありました。その後、恒例のご挨拶等が続き、各種の表彰が行われ、大会アピールがあり、次期開催地「福島」に引き継がれました。昨年の茨城大会でもそうであったように、関係者の皆さまのご苦労は大変なもので

あったと感じます。誠ににお疲れさまでした。…と、ここで終わりにしたのではあまりにも短いので、私の足取りなどご紹介します。もう少々お付き合いくださいませ。

大会前日の10月18日に念願の茨城空港からの空の旅を経て、神戸へ。そこからレンタカーで一路岡山へ。なぜ岡山経由なのかというと、そこに孫がいるから。岡山駅の真上のホテルに孫と一泊し、19日は散々道に迷った末、玉造温泉に立ち寄り、事務局には早く来てねといわれ、少々焦りつつ島根県松江市の大会会場へ。その晩は、茨城会主催の懇親会に出席し、柴会長はじめ参加者の皆さまと縁結び？ させていただきました。20日は、松江市内観光、出雲大社参拝でさらに縁結びで出雲泊。というわけで、初めての島根の旅を堪能してまいりました。皆さまお疲れさまでした。



ホテル ウエディング レセプション

ココロに効く場所 *happy space*



SANNOMARU HOTEL
三の丸ホテル
水戸市三の丸2-1-1/TEL 029-221-3011(代)

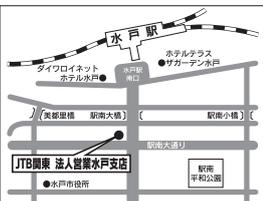


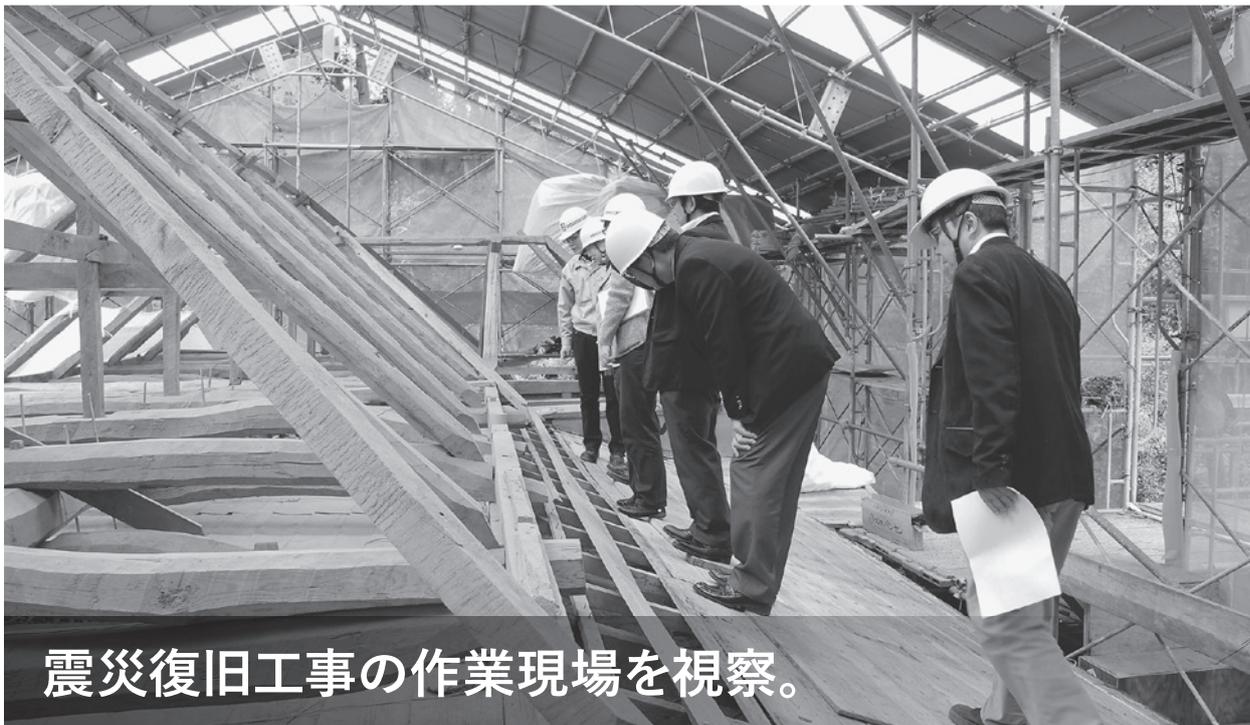
感動のそばに、いつも。

☎029(225)5233
JTB関東 法人営業水戸支店

〒310-0803 茨城県水戸市城南1-1-6
サザン水戸ビル2階
FAX. 029(226)4017
営業時間 月～金曜/9:30～17:30
(土曜・日曜・祝祭日休業)

総合旅行業務取扱管理者 河部悦夫
(株)JTB関東 (社)日本旅行業協会正会員
観光庁長官登録旅行業第1578号





震災復旧工事の作業現場を視察。

西山荘のき先にて

平成23年3月の東日本大震災で被災した、水戸藩2代藩主・徳川光圀公の隠居所「西山荘」(常陸太田市)の復旧工事が昨年7月より開始されました。茨城県建築士会では公益財団法人「徳川ミュージアム」より支援要請を受け、工事の進捗に合わせ作業状況を確認する機会を得ました。

今回の現場視察は昨年11月25日に行われ、柴会長ほか数名で参加しました。

西山荘の歴史は、徳川光圀公が晩年、その隠居の地を久慈郡太田郷新宿村西山の地に定め、元禄4年(1691年)5月9日に移り住んだことに始まります。その後、元禄13年(1700年)12月6日、73歳で没するまで、およそ10年の間住み、みづから「西山陰土」と称し、「大日本史」の草稿の修訂をつづける傍ら、読書、詩文を友として悠々自適の生活を送りました。

文化14年(1817年)8月4日の野火によって、土蔵と

恵日庵を残して全焼してしまいますが、文政2年(1819年)から3年にかけて水戸藩8代藩主・徳川齊脩がその遺徳を偲ぶため、規模を縮小して再建しました。

先の大震災の災害において、建物は傾き、土壁に亀裂が生じ、基礎となる礎石もずれるなど、大きな被害を受け、復旧工事が必要となりました。災害後、2年に及ぶ調査と準備を経て、災害復旧工事が開始されました。

文化財の修理では、江戸時代の創建当時の材料や工法で行うことを基本とし、材料なども可能な限り再使用することが原則となっています。現在の現場の状況は仮囲いされ、傾きを直すため建物の一部が解体され、屋根の茅なども取り外され、礎石工事のため建物が1.0mほどジャッキアップされた状態です。今後も工事の進捗に合わせて、現場見学のレポートをお届けする予定です。

人に優しく、環境に優しく、
全ての Workplace を演出、サポートする…

株式会社 新日東

〒311-0105 茨城県那珂市菅谷 3127
TEL:029-270-8551 FAX:029-270-8552
<http://www.shinnitto.co.jp/>

内装仕上工事業 茨城県知事許可(般-21)第25910号
高度管理医療機器等販売業(常陸大宮保険所長許可 宮第26号)

最新の建築基準法に対応!

2014 **建築申請 memo**

編集 建築申請実務研究会

本体価格 4,400円+税 送料340円 (3月発売予定)



新日本法規出版

☎ 0120-089-339 受付時間 8:30~17:00
(土・日・祝日を除く)

ホームページ <http://www.sn-hoki.co.jp>

貴重なレンガ造りの修復現場を体験。



牛久市「シャトーカミヤ」内部

牛久市にある国指定重要文化財「シャトーカミヤ」の保存修理工事を見学しました。普段見られない部分や保存修理の仕方を見せていただき、とても勉強になりました。文化財建造物保存技術協会の方には、暑いなか熱心に説明していただき頭が下がる思いでした。

震災以前にもここには来たことがあり、雰囲気は知っていましたが、震災のつめ跡はかなり大きく、レンガの組積造でできた壁にはひび割れがあちらこちらに入っていました。複数の特殊な補強方法について説明を受け、百聞は一見にしかずだとつくづく思いました。

昨年度、建築士会でヘリテージマネージャーの講習会が開催され、1期生37名のヘリテージマネージャーが誕生しました。今まで未来志向で古い建物にはあまり目がいかなかった私ですが、使命感のようなものから参加し、それを機に思いを改めました。日本ではスクラップ&ビルドが繰り返され経済最優先の価

値観が主流です。まだ十分きれいな建物でも使い勝手が悪くなったりして壊される場合も少なくないようです。空き缶も分別すれば資源となり、捨ててしまえばゴミになります。建物の価値を見出し保存することは、時間と労力そして費用がかかり大変難しいと見学して感じました。しかし、見出し保存していくことには大変意義があります。いろいろな制度を活用したり技術や知識を身に付け、少しでも「壊してもったいない」ことがないように、勉強を積み重ねていきたいと思っています。



レンガ造の保存修理方法を知る貴重な機会に

スト-黒板

日本工業規格表示認定工場 JIS S 6007(黒板) ML0308001
ISO 9001:2008 認証取得
ほうろう白板連盟認定工場 No.0024
建設業国土交通大臣許可(内装仕上工事業)第20397号

SKS 株式会社 須藤黒板製作所

〒132-0035 東京都江戸川区平井7丁目17番35号
電話 03(3617)8701(代)
FAX 03(3616)0811

オフィスに必要なものはなんでも!

・OA機器・事務用品・スチール家具販売

(株)トビタ文具

☎(029)212-5311(代)

水戸市谷津町887 FAX(029)253-0681



伝統建築の魅力をまちづくりに活かすこと。

現場実習で「竹小舞づくり」を学ぶ

“ヘリテージマネージャー育成研修”にご参加を！

歴史的な建物やまち並みは、地域の歴史と暮らしを今に伝え、個性あるまちづくりや景観づくりにつなげることができるそのまち固有の大切な資産ですが、所有者や地域住民に価値を認識されずに埋もれている場合が多く、こうした価値を見出し、保存・活用等の提言を行い、地域づくりに活かしていくことが大きな課題となっています。昨年本誌82号において特集を組み、詳しく内容をご紹介した「いばらき地域文化財専門技術者育成研修」(通称:ヘリテージマネージャー育成研修)ですが、本年度は2期目となり現在終盤を迎えています。7月から全10回、計60時間の長丁場の研修ですが、今年度も熱心な受講生の皆さんがチームをつくり、座学と実習に取り組んでいます。1期目に比べ現場実習の時間は減りましたが、保存か解体か検討中の建物で調査実習・活用提言を行ったり、登録文化財や重要文化財の保存改修工事の過程を検証したりするなど、タイムリーな題材で茨城独自のカリキュラムを構成しました。当初5か年計画でスタートした研修ですが、今後の継続は参加者数次第ということになります。受講を検討されている会員の皆さん、早めの受講をお勧めいたします。

また、上記研修からの展開として、2月22日に下妻市において「歴史的建造物の保存活用からまちづくりを考えるワークショップ」を開催しますので、ぜひご参加ください。

第4弾「常陸国のむかしの家」を製作中です！

昨年9月29日(日)、39名に参加いただき、「まちなみ体感ツアー」の第4弾を実施しました。つくば市北条からスタートし、「土浦一高」・土浦「まちかど蔵」周辺と、昼食後は、国指定重要文化財になっているかすみがうら市の茅葺民家の「椎名家住宅」を見学、その後石岡市に移動、「府中誉」の酒蔵、昭和の看板建築の数々、「旧千手院山門」などを見学しました。

まちづくり委員会では、平成19年度から、茨城県に残る“むかしの家”を再評価し、その魅力を伝える「体感ルート・ガイドマップ」の作成を行ってきました。東日本大震災により県内の歴史的建造物や街並みは大きな被害を受け、プロジェクトも中断を余儀なくされましたが、震災から時間が経過し復旧が進みつつあることを受け、3年ぶりに体感ツアーを再開し、第4弾となる「体感ルート・ガイドマップ水戸街道・筑波編」を発行する運びとなりました。新たな視点を持って編集作業を進めていますので、どうぞご期待ください。



「まちなみ体感ツアー」第4弾で訪れた椎名家住宅にて



見て、触れて、満喫した会津の精神。

鶴ヶ城にて

「会津に来てくなんしょ。」ということで、建築士会主催の『まるごといただく、会津極上の旅』に参加してきました。会津と聞いて頭に浮かぶものは、鶴ヶ城、白虎隊とありますが、今は、「ならぬものはならぬ…」のハンサムウーマンこと八重さんの生涯を描いた昨年のNHK大河ドラマ『八重の桜』が一番でしょうか。

当日は雨が心配でしたが、高速道路で東北に向かうにつれて良い天気。小野町の千本桜を眼下に高速道路を走り、磐梯河東ICを下りると、バスの窓越しに、うっすらと霧がかかった会津若松市の町並みが見えてきて、どこか神秘的にさえ感じられました。

「会津藩校日新館」では、施設の見学をしながら、会津人は頑固だといわれるゆえんである『仕の掟』の教育方針について説明を受けました。会津には何度も出向いている私ですが、この施設に寄るのは初めてでした。昔の会津藩では、青少年の教育にことのほか

熱心だったようで、水戸に通じるところもあるかなと感じました。

昼は、1970年に開店した元祖輪箱飯(わっぱめし)で有名な『田季野』で舌包みをうち、お腹一杯に。この店の建物は、会津西街道にあった鎌倉時代から続く旧家を移築復元したもので、情緒ゆたかな建物でした。

その後、鶴ヶ城の見学をし、今回のメインの見学地であり、新たな会津観光スポットになった『ハンサムウーマン八重と会津博 大河ドラマ館』へ。大河ドラマのセットの再現、撮影で使用した衣装、小道具などを見学し、ミニシアターで出演者からのメッセージやメイキングの映像を見て『八重さん』の生き方に少し触れて、帰途につきました。帰りの車中で、会津に行くなら『イマでしょ!!』と胸の中で思いつつ、会津極上の旅は終了しました。良い旅をありがとうございました。この場をかりて関係者の方にお礼を申し上げます。



積算資料電子版

2012年8月号から販売開始

積算資料と追加資料のデータベースを
web上で閲覧

年間利用料(税込)
年12冊(毎月)
46,200円

特長

- 本やPDFに無い資料の追加規格数が約7000
- いつも見る資料の登録が可能
- 都市、流通段階による選択表示が可能
- 価格変動表示が可能
- フリーワード検索が可能
- Excel形式データ出力が可能
- 単価と出典根拠の出力が可能
- 本同様のページ印刷が可能
- 1契約につき7ユーザーまでの登録が可能
この内3ユーザーの同時利用が可能
- 契約期間中のデータは契約終了後でも閲覧可能

お申し込み・お問い合わせは ▶ 一般財団法人 経済調査会 業務部

〒104-0061 東京都中央区銀座5-13-16 東銀座三井ビル
TEL (03) 3542-9291 FAX (03) 3543-1904



本の閲覧・データ体験・ご購入はこちら!
BookけんせつPlaza [検索](#)



今年も「建設フェスタ2013」に参加。

笠松運動公園にて

昨年の10月27日、ひたちなか市佐和の県立笠松運動公園「自由広場」において、「建設フェスタ2013」が開催されました。

前日までは、台風27号・28号が同時に関東地方に接近し、開催が危ぶまれましたが、幸いにも当日は晴天に恵まれ早朝から多くの来場者で賑わいました。

今年は、本会のほか、建築士事務所協会、建築センターもそろって参加しました。

本会のブースでは、「住宅相談」と「苗木配布(サクラランボ、ヒメクチナシ)」を行いました。苗木は例年どおりの人気で、配布時間前から希望者が長い列を成し、配布を開始するとあっという間に予定本数を終了してしまうほどでした。

一方「住宅相談」については、相談者が少なく、事前の周知やブースでの看板設置などPR面で来年以降の課題が残りました。

また、賛助会4社も、それぞれに工夫を凝らした企画で建設フェスタに参加し、このイベントを大いに盛り上げました。ブースでは、㈱フジクリーン茨城による顕微鏡による「微生物の観察」と「綿飴づくり」、㈱根子左による恒例の「絵馬づくり」、YKK.APによる「輪投げに挑戦」と「菓子プレゼント」が行われ、茨城県ガス協会は、環境にやさしいエネルギー・天然ガスをPR。いずれも多くの来場者に楽しんでいただきながら、無事に今年の「建設フェスタ2013」を終えることができました。

最後に、総務・企画委員会では、本会の運営が円滑に行われるよう、各種事業の見直しや新たな事業の立案などを行っていきます。引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いします。



株式会社 **広報社**
Creative Signs & Design

TEL 029-247-8071 〒310-0841 茨城県水戸市酒門町 4342-1



「木材利用ポイント」制度を正しく理解する。

イーアスつくばでの説明会の様子

県南ブロック協議会の平成25年度1回目の事業は、「木材利用ポイント事業」の説明会を計画しました。施工業者への説明会および登録はすでに水戸、土浦にて行われ、業者登録も昨年7月31日に締め切られています。

この制度は、林野庁が地域材を活用した木造住宅や木製品にポイントを付与し地域の農林水産物との交換を行う取組みとして410億円の補助をするものです（一戸あたり30万円、内外装は面積に応じ0.7万～30万円）。しかし私たち県南ブロック協議会としては、施工業者には説明されたものの本来この制度を利用するのは誰なのかと考えたとき、建築主と接する設計担当の建築士が良く理解していなければならないとの思いを抱き、説明会を開催することになりました。

昨年8月28日に実施し、設計関係者及び以前登録した施工業者合わせて47名の参加がありました。

制度の説明は、茨城県農林水産部林政課森づくり推進室と申請窓口となる茨城県建築センターに担当していただきました。

急遽できた制度であり、平成26年3月末までの着工または購入が対象と期間が短いうえ、内容が複雑なこともあり、質疑応答の時間をたっぷり設けました。そのため、参加した皆さんには有意義なやりとりをしていただけたと思います。

私たち県南ブロック協議会としては、今後も、住宅を新築、増築、リフォームする建築主にこの制度の存在を伝え、多くの方に利用されるよう努めたいと考えています。

いきいき未来へ
 **コスモ総合建設株式会社**
 代表取締役 池田 勇夫

本社／〒310-0842 茨城県水戸市けやき台2丁目13-2 TEL.029-248-5358(代) FAX.029-248-5377

<http://www.cosmo-ac.co.jp>

つくば営業所／〒305-0033 茨城県つくば市東新井2-1 KMS・S2-403号室 TEL.029-852-5000 FAX.029-852-5077



日帰り研修見学会で支部の存在をアピール！

「江戸東京たてもの園」にて

高萩市は県北部に位置し、かつては炭鉱、林業の町として栄え、大工さんも他の町に比べ多かったと記憶しています。私が士会に入った昭和50年当時は活動も盛んで会員になれたことを誇りに思ったものです。

現在はその面影も薄れ会員数も40人を割ってしまいました。何とか士会の存在と活動を知っていただき、仲間を増やせないかと数年前より日帰りで研修見学会を行っています。会員のほか、ご家族、工務店関係者、そして、一般の方にも声をかけて参加をお願いしたところ、年々参加者が増えて、今年は43名の参加者が集まり、平成25年9月19日に東京の「新歌舞伎座」と「江戸東京たてもの園」に行ってきました。

お天気にも恵まれ、バスは超満員で和気藹々のうちに「新歌舞伎座」に到着。しかし、残念ながら舞台等の施設は見学できませんでした。でもお土産コーナーや歌舞伎座の歴史を感じることができました。昼食

は築地でお寿司を堪能し、買い物を楽しんだ後、次の目的地である「江戸東京たてもの園」に向かいました。ちょうどこの日は東京国体の開会式が味の素スタジアムで行われており、小金井周辺は大混雑で駐車場も満車で入れない状態でした。園内は広くかなり歩くことになりましたが、この日は無料開放日で、すべてのイベントが無料。和洋混在で明治・大正・昭和初期の建物があり、いろいろなイベントが催されていました。ゆっくり見るには時間が少し足りない部分もありましたが、充実した見学会となりました。



橋梁及鋼構造物塗装 一般建築塗装 防水工事 建物総合改修工事 石油化学プラント塗装 原子力・火力発電所塗装
各種ライニング工事 各種吹付タイル工事 各種サイン工事 交通安全施設工事 アスベスト除去工事

株式会社 マスダ 塗装店

本社 茨城県水戸市大工町3丁目2番8号

本店 茨城県ひたちなか市中根5255-3

TEL 029(224)8807

TEL 029(274)5101

FAX 029(272)3191

<http://masuda-toso.com/>



子どもたちが描く 「未来に住みたい建物」。

石岡支部が主催する「小学生の絵画展」審査風景

石岡支部では、9つの委員会や研究チームの組織構成で活動を行っています。今回はそのひとつの総務委員会をご紹介します。

総務委員会の主な活動は、「小学生の絵画展」、「研修旅行」、「講習会」です。12人の委員で各活動を分担し、効率よく行事を遂行するようにしています。

「絵画展」では、子どもたちに将来、建築に興味を持ってもらうきっかけになればと考え、市内の小学校の5年生・6年生に、「未来に自分が住んでみたいまちや家」をテーマとして、夏休みに絵を描いてもらっています。

募集した作品は9月に審査会を行い、10月～11月に展示会、12月には表彰式を行って、地元の方々に建築士会の活動内容を理解していただいています。

今年で第9回になり、15校から98点の作品が展示されました。審査の結果、そのうち15点が入選と決まり、12月21日に表彰式が行われました。表彰式には受賞されたお子さんや父兄の方々に出席していただき、賞状、記念品の授与を行いました。

「研修旅行」は、各地の史跡、遺跡等を見聞して、歴史の勉強や視察先の環境を肌で体験することを目

的に行っています。昨年は、11月に雪景色の福島県会津方面、彗日寺跡、大内宿、塔のへつりに行き、有意義な研修となりました。

「講習会」では、支部会員が仕事に活用できるようなコンピュータの勉強会も予定しています。

今後は、支部のホームページを作成して、さらに支部の活動をご紹介できるように努めていきたいと考えています。



支部主催の研修旅行

晩秋の笠間に伊東豊雄作品を訪ねて。



「笠間の家」の内部

今年で8回目となった「都市景観ウォッチング」を昨年11月23日に開催しました。今回訪ねた街は笠間市。一般の人たちにも参加を募り、「笠間の家」とその周囲を巡りました。

「笠間の家」はプリッカー賞などを受賞している伊東豊雄氏の初期の作品です。昭和59年にはこの作品で日本建築家協会新人賞を受賞されています。陶芸家・里中英人氏(故人)のアトリエ兼住宅でしたが、里中さんのご遺族が建物を笠間市に寄贈し、整備されて一般に公開されています。ツーバイフォー工法の白い建物はファンも多く、今回の企画でも、参加者が楽しみにしていた建物でした。

笠間の家から笠間工芸の丘まで歩いて戻りましたが、地元の人しか知らない非常にながめの良い桑畑の丘も歩きました。この行事に朝から同行していただいた「笠間ふるさと案内人」の菅谷さんの解説を聞きながら、個人ではなかなか体験できない笠間を満喫することができました。

笠間工芸の丘にもどり、参加者全員で食べたお弁当は「笠間いなり寿司」。稲荷神社にちなんだ「いなり寿司」はB-1グランプリの全国大会にも出場した、とても

美味しいお弁当でした。一般の参加者の方からも、「機会があったらまた参加したい」という感想をたくさんいただきました。

県央地区内で行っている「都市景観ウォッチング」も今回で8回目となりました。どこに行くか、資料集めをどうするか、一般の人たちに参加してもらうためにはどうするか、いつも悩みながら実施していますが、「参加して良かった」という声を聞くと、疲れも癒やされます。会員の皆さんも、次回はぜひ参加をお願いします。



「笠間工芸の丘」にて参加者全員で



建具屋のちょっとうれしいぼやき。

西洋の古民家風建築。“古いもの”ばかりを使った“新築”です！

写真の建物は新築ですが、西洋の古民家風にアレンジした、とても新築には見えない建物です。屋根はシングル葺き、外内壁ともに漆喰仕上げ、柱梁は古材、設備機器の一部を除いてすべて古い物ばかり。お客さまは、完成を待たずして大変喜び満足され、ていねいなお礼を言ってくださいました。

実際に製作建具はほとんどなく、お客さまと設計士で買い集めた古い建具と金物を取り付けていきました。物入れや錠戸などは製作しましたが、製作建具材は木材市場で雨ざらしの材料を一山購入し、その中でもいぶし銀のような古材を選び、建具・家具の表面は削らず仕上げずの方法で組み立てました。

これがいかに大変なことか。また、現場では支給された扉を加工して取り付けるのですが、支給された扉には塗装が残っており、釘や金物がたくさん隠れています。加工の度にトリマーの刃や丸ノコの刃、またパネルソーで巾詰めすればバッジと釘を切ってしまう刃物がだめになる始末。とてもやっかいな現場でした。

しかし、愚痴は出るけれど、文句をいう職人は誰もいません。クライアントのご主人も自分で漆喰を塗ったり、終われば塗装も行ったり。夫婦二人自ら刷毛

を持ち、自分たちで床の塗装も行っていました。もちろん職人や設計士の手ほどきを受け作業するのですが、黙々と作業する姿は職人以上。仕上がりも遜色なく、素晴らしい出来に。物を作る喜びは建築の原点なのかもしれません。

今までたくさんの現場を見てきましたが、ここまでのこだわりとチャレンジは、設計士やクライアントの挑戦する気持ちがなければなかなかできるものではありません。建物そのものが店の宣伝に、そして広告になるという、昔の看板建築をしのぐ建物といっても過言ではないでしょう。

完成時から古民家の雰囲気を持たせ、10年、いや20年たってもこの雰囲気は変わることはないでしょう。商空間に対する要望が多様化・個性化し、いろいろな情報が得られ、自由な発想で建築にアプローチするお客さまが増えるなか、ここでご紹介したような強いこだわりを持ったお客さまもいます。手間はかかりましたが、そんなお客さまのこだわりを満たす、このうえなくすばらしい建物となりました。



わくわくセミナー ラブアークセミナー
「固定資産税」「陶芸体験」

ラブアークセミナー「陶芸体験」

電卓片手に楽しく税算出の基本を学ぶ

10月のわくわくセミナーは固定資産税の算出方法と新築住宅に対する減額措置の講習となりました。現在はパソコンのプログラムにより税額を算出しているとのことですが、講師の土浦市役所課税課の担当の方が、事前にわかりやすい手計算用の準備をしてくださり、各自、電卓を用いて真剣に計算を楽しむ2時間となりました。

評点項目や方法などは地域により多少違いもあるようですが、基礎から屋根まで各項目ごとに選んだり足したり掛けたり…という単純なようで複雑な細かい計算により税額が算出されているということがわかりました。

設計側が思っている価値あるものと、課税上の価値(?)に違いがある部分も発見し、今後小ネタとして生かせたら良いと思っています。(橋本)

家族そろって参加。秋の笠間で陶芸三昧

家族3人で参加しました。

今回は子供が一緒だったので手びねりに挑戦、私は自分用の茶碗を、息子は大皿を作りました。思ったより粘土がやわらかく、茶碗型に成形するのに苦労しました。また、厚みの見当がつかず不安に思いながらもなんとか完成しました。主人はろくろに挑戦し、難しくも楽しんで茶碗や湯飲みを作っていました。

息子は、ちょっと待っていれば焼き上がり完成品が見られると思っていたようで、2か月近く待たなくてはならないと聞いてガッカリしていました。でも、どのようにでき上がるのかみんなで楽しみにしています。

帰りはドライブがてら何件かの陶器店を覗いてまわり、秋の笠間で満喫できた一日でした。(根本)



わくわくセミナー「算出してみよう」

水戸駅南口直結。多彩なニーズに対応する未来型都市型ホテル



HOTEL TERRACE
 the GARDEN MITO

〒310-0015 水戸市宮町1-7
 Tel. 029-300-2500(代表) FAX. 029-300-2545
<http://www.hotel-terrace.com>

「ヘリテージマネージャー育成研修2013」体験記。

かねてから歴史的建造物に深い愛情と情熱を寄せてきた情報・広報委員会の加藤 誠洋委員が、「ヘリテージマネージャー育成研修2013」を受講しながら、研修の様様とその意義を3回にわたりお伝えします。

あっという間にヘリテージマネージャー育成研修も全10回のうち6回を終え、この原稿を書いている明日(2013年12月7日)は第7回目の研修があります。

もちろん毎回滅多に会えない高名な先生方を迎えお話を頂戴できるのはたいへん有益なことで、それだけでもお金を払って研修を受ける価値はあるのですが、つづけてきてもっと大切なことというか、本質が見えてきたりもします。

研修は丸一日がかりで時には座学、時には実地訓練で、しかもあまり親切とはいえないプログラムが知らされるのみでかなり戸惑うのですが(要改善事項でもありますよね)、それにしても感心するのは真剣な受講者の姿勢です。

すこし文化財をかじっていて普段この分野の人材不足を痛感している僕から言わせてもらえば、茨城県内に文化財建造物についての知識を得ようとする人たちが大勢いることに驚きます。

しかも、みなさん誰かに言われて参加しているので

はなく自発的でどん欲です。

はたして歴史的な建造物の魅力のなせる技なのかわかりませんが、これはとても良いことだと思うのです。

いま僕は、世の中がストックを活かすことの大切さに気づき始めていて、ますます歴史的建造物を活かす需要の高まりが大きくなっていると感じています。

ヘリテージがその能力を示すのは、研修で培った知識を活かすこともひとつですが、もっと重要なのはヘリテージマネージャーのつながりを活用したネットワークの構築でしょう。

みなさんの熱心な姿勢を見るたびに心強くなる、そんな毎回のヘリテージは、まさに将来の茨城県の宝だと言えそうです。



研修風景(名付けて「小舞女子」)

建築と住まいのことなら! 一般 茨城県建築センター 財団法人

住まいづくりに関する手続きを一元的に扱っています。迅速な対応とともに、サービスの提供として次のことを行っています。

1 建築確認・検査業務

完了検査率アップ! 検査済証は適法建築物の証です。

2 住宅瑕疵担保責任保険業務

3 証券化支援事業業務 

4 住宅性能評価業務

5 長期優良住宅の認定に係る審査業務

6 低炭素建築物の認定に係る審査業務

7 構造計算適合判定業務

8 耐震診断・補強計画判定業務

9 住宅・建築の相談業務



<http://www.ibakenju.or.jp/>



本部・県南・県西事務所のいずれも
直接受付・確認いたします。

営業時間/平日の9:00から18:00まで
(第1・第3土曜日も営業しています。)

■本部事務所(水戸市)〒310-0852 茨城県水戸市笠原町 978-30

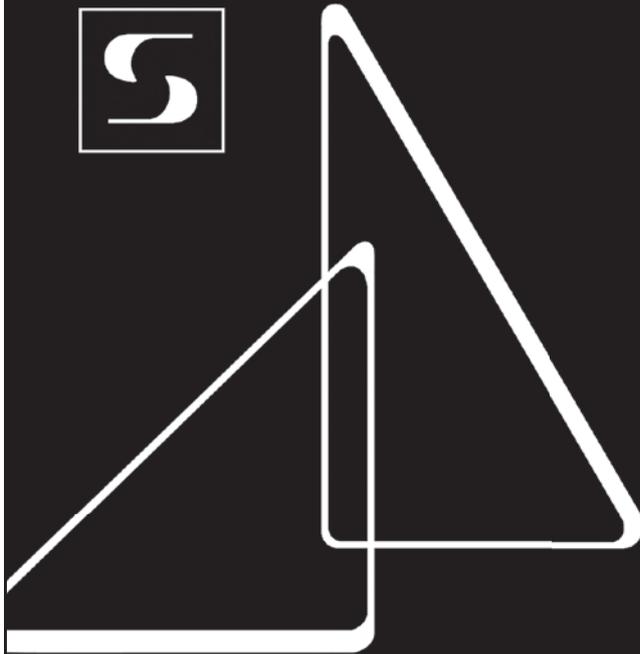
TEL.029-305-7300 FAX.7310

■県南事務所(つくば市)〒305-0035 茨城県つくば市松代 1-18-1

TEL.029-860-8088 FAX.8090

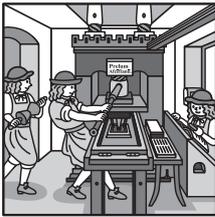
■県西事務所(古河市)〒306-0126 茨城県古河市舘川 1064-1 三友ビル 5 階

TEL.0280-75-2600 FAX.2603



株式会社 柴 建築設計事務所
SHIBA ARCHITECT OFFICE

水戸市泉町3-1-28 第二中央ビル7階
TEL.029-227-0222 [代]
FAX.029-231-0960



16世紀の印刷風景

印刷機は
ぶどうのしぼり機から
始まりました。

あなたの“ひらめき”に確かな技術でお応えします。

株式会社 高野高速印刷
http://www.takano-kousoku.co.jp

平須工場《営業本部／製造本部》
〒310-0853 茨城県水戸市平須町1822-122
TEL:029-305-5588 FAX:029-305-5533
http://www.takano-kousoku.co.jp
e-mail tki@atlas.plala.or.jp

- ◎ 総合印刷 企画・デザイン
大判カラー出力
オンデマンド印刷
マルチメディアコンテンツ
シール・ステッカー、フィルム製品
CD・DVDプレス、コピー
販促・ノベルティ・各種名入れ製品 など

- ◎ 電子書籍(EPUBイーパブ)、電子ブック、PDF作成
カタログ、チラシ、パンフ、冊子、紙資料、フィルム、その他

その他、お気軽にご相談ください。

高野高速印刷 検索



土に還る 自然に還る 水が還る

株式会社 秩父ケミカル株式会社
http://www.titibu.co.jp/

ニュートレンチくん

☆トレンチ型雨水貯留浸透施設の決定版☆

プラダしくん

★様々な規模の雨水貯留浸透槽にプラス★



- ✓ 施設内部に通水管を内蔵！
- ✓ 配管施設として設置可能！
- ✓ 移送管を内蔵、施設内部の清掃が可能！



- ✓ 組立簡単、工期短縮！
- ✓ 地下埋設型のため、上部利用が可能！
- ✓ T-25対応で、駐車場の下にも設置可能！

本社 東京都千代田区外神田 5-2-3 JR 外神田ビル
北関東営業所 茨城県水戸市河和田 3 丁目 2379-3

TEL03-3832-1617 FAX03-3832-1681
TEL029-297-8688 FAX029-297-8689

(公社) 雨水貯留浸透技術協会
技術評価認定取得商品

ソメノの床はアスリートをささえ、夢と感動を創造します。

ソメノの鋼製床下地材

シム・エース

多目的アリーナの床構造を変えた 高い遮音効果を発揮する画期的工法

スーパーG スーパーL

鋼材下地の総合メーカー



株式会社 染野製作所

東京支店：〒144-0051 東京都大田区西蒲田 7-60-1 (染野ビル) TEL.03 (3735) 4891代 FAX.03 (3736) 9797
本社・工場：〒300-1231 茨城県牛久市猪子町 648 TEL.029 (872) 3151代 FAX.029 (873) 3330
札幌営業所：仙台営業所：名古屋営業所：大阪営業所：広島営業所：福岡営業所

URL http://www.someno.co.jp



鎌倉警察署 柔剣道場



大洗町立大洗小学校「しおかぜホール (ランチルーム)」



一般社団法人
茨城県建築士会

<http://homepage1.nifty.com/ishikai/>